

第148回塑性加工技術セミナー
「チューブフォーミングの基礎と実際」

日時：平成16年9月3日(金) 9:30～16:30

会場：名古屋市工業研究所 第2会議室[〒 名古屋市熱田区六番3-4-41 電話(052)-661-3161]

主催：日本塑性加工学会 (実行：チューブフォーミング分科会)

協賛：軽金属学会、精密工学会、日本機械学会、日本材料学会、型技術協会、鉄管継手協会、日本アルミニウム協会、日本金属プレス工業協会、日本高圧継手協会、日本鑄造技術協会、日本鉄鋼協会、日本非鉄金属鑄物協会、日本鍛圧機械工業会、日本バルブ工業会(以上すべて予定)

趣旨：本講習会は、チューブフォーミング(管の二次塑性加工)に関連する実務に携わって間もない技術者、研究者または学生を対象とする。テキストとして、本学会より出版されている技術シリーズ10「チューブフォーミング」を使用して、チューブフォーミングの基礎理論、加工技術、実務の基礎(工程設計、型設計、材料特性)などの全貌とポイントを平易に解説する。また、この分野の理論・技術、研究開発の展望や指針についても紹介する。各主要テーマ毎に十分な質疑・相談の時間を設けている。

プログラム：開会の辞 (9:30～9:35) 君
：午前の部 (9:35～11:55) (名古屋大学) 吉田 佳典君
：午後の部 (12:45～16:30) (株式会社 三五) 加藤 和明君

時刻	内容	講師
9:35～10:20	チューブフォーミング用材料と加工性：チューブフォーミング用管材の種類とその材料特性、材料試験法、二次成形性とその関係について講義する。	JFEスチール(株) 鋼管セクター部 (仮)片桐 忠夫君
10:20～10:30	質疑・相談	
10:30～11:20	曲げ加工の基礎：曲げ加工の分類と特徴、加工力、加工限界、及び型設計などの理論と考え方について講義する。	新日本製鐵(株) 名古屋技術研究部 菱田 博俊君
11:20～11:40	曲げ加工技術の実際とポイント：自動車部品、ILホなどのプラント用配管部品、家電部品などの各種曲げ加工法とその特徴、曲げ機械新加工法などのポイントを解説する。	(株)オプトン 野村 拓三君
11:40～11:55	質疑・相談	
11:55～12:45	昼食・相談	
12:45～13:35	バルブ加工の基礎：バルブ加工における変形、加工力、加工限界、加工精度、型設計などの基礎理論と考え方について講義する。	川崎油工(株) 製造部 生産技術課 日高 敏郎君
13:35～13:55	バルブ加工技術の実際とポイント：配管部品、自動車部品などに実際に適用されている各種バルブ加工法とその特徴、加工機械、新工法などのポイントと事例を解説する。	(株)山本水圧工業所 営業技術顧問 福村 卓巳君
13:55～14:10	質疑・相談	
14:10～14:20	休憩	
14:20～15:20	管端加工の基礎：管端加工の分類と口絞り加工、口広げ加工における変形、加工力、加工限界、加工精度、型設計の基礎理論と考え方について講義する。	(株)三五 精鋼生技部 安藤 弘直君
15:20～15:50	管端加工技術の実際とポイント：自動車部品、配管部品などに適用されている口絞り、口広げ加工法とその特徴、加工機械、新しい管端加工法のポイントと事例を解説する。	マルヤス工業(株) チューブ・ハイシステム事業部 朝倉 幹男君
15:50～16:30	質疑・相談(総合討論を含む)	講師全員

定員：100名(定員になり次第締切り)

参加費：会員5,000円(学生会員は半額)、一般10,000円(協賛学協会員は会員扱い)

テキスト：日本塑性加工学会編：塑性加工技術シリーズ10「チューブフォーミング」(コナ社)をテキストとして使用致します。お持ちでない方には、参加費と別に(会員3,700円、一般4,120円)で準備致します。

申込方法：

申込先：日本塑性加工学会

振込先：銀行振込()、郵便振替()